

## 登録団体紹介

### ■ 大人が楽しむボードゲーム会

皆さんは「ボードゲーム」を知っていますか？  
トランプやUNO(ウノ)、人生ゲームなどをはじめとして、卓上で遊ぶゲーム全般を「ボードゲーム」と呼びます。  
世界には様々なボードゲームがあり、ボードゲームを持ち寄って、みんなで楽しく遊ぶ会が「大人が楽しむボードゲーム会」です。  
「大人が楽しむ」としていますが、子ども達も楽しむこともアリ。中には子どもが大人を打ち負かすようなゲームもあつたりします(笑)。  
そのような会を益子町を中心に月1回程度、定期的に行っていましたが、コロナ禍の現在は休止しています。  
状況が落ち着いてきたら、再開したいと思っておりますので、その際は皆さんぜひ一緒に遊びましょう!

代表：大塚 康宏



### ■ 東鹿自治会

当自治会は、真岡市の南東部(旧二宮町の東部)に位置し、戸数は26戸、人口は87人と小さな自治会です。真岡市の「地域づくり事業」を活用しながら、会員の交流を図り地域の絆を強めるような活動を積極的に行っています。  
具体的には、「敬老会」や高齢者が集う「ミニディ」の開催を始めとして、料理教室や健康講話などの「健康づくり事業」、地元的地蔵尊の例祭に併せた「地蔵様まつり」や八坂神社での秋の「甘酒まつり」などを行い、子供から高齢者まで多くの方々の交流の場となっています。  
しかし、この2年間は、コロナ禍で十分な活動が出来ていませんので、コロナウイルス感染流行の一日も早い収束を願っているところです。

代表：柳 幸雄



### ■ きらり花倶楽部

私達の会は、押し花作り、小物作り(ソーイング、歳時記の飾り物など)、ポールウォーキングの3種を交流しながら楽しむために立ち上げた会です。真岡市ではコラボレもおかのミーティングルームを使い、活動しています。  
今年は、長引くコロナ禍の影響で計画通りに集まることができませんが、直近の活動では、買物袋ランチバック、エプロン、どんぐりのキャラクター作り、松ぼっくりのリースやお正月飾りを作りました。さらに、久下田の白蛇神社(白蛇辨財天)まで、ポールウォーキングを楽しむことができました。  
月に1回、四季の移り変わりや自然の恵みをいただきながら、創作活動に励んでおります。

代表：片柳 節男



### 真岡市市民活動推進センター コラボレもおか

〒321-4507  
栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F  
TEL: 0285-81-5522  
FAX: 0285-81-5558  
e-mail: info@collabo-moka.net  
URL: http://www.collabo-moka.net/  
【開館時間】火～金: 9:00～21:00  
(土・日は18:00まで)  
【休館日】・毎週月曜日 ・祝日  
・年末年始(12/29～1/3)  
※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



コラボレもおか  
イメージキャラクター  
コラちゃん(左)と  
ポレくん(右)



檜山きみさん

もおかの人と人をつなぐ情報誌

# コラボ!

第53号

2022.4

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た



皆さん、SDGsという言葉を知ったことはありますか？

近年のオリンピック・パラリンピックや様々な番組・CMなどでもSDGsやその取り組みが取り上げられていました。

今回の特集ではそんなSDGsについて改めて考えてみたいと思います。

#### ○そもそもSDGsとはなんなのか？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。2015年9月の国連サミットにてミレニアム開発目標(MDGs)※の後継として採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、2030年までにより良い世界を築くため達成を目指す国際目標となっています。目標は、17のゴールと169のターゲットから構成されており、色とりどりのアイコンとともに周知されています。そして、そのコンセプトは「誰一人取り残さない(leave no one behind)」です。

#### ○目標をどう考えるか

前身のMDGsは主に開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、全世界の国々が取り組む目標として作られました。この目標の特徴としては、その達成には政府機関だけでなく、市民、企業、市民活動団体など、すべての人々の行動が求められています。近年、多くの企業CMや番組、取り組みでこの言葉がみられるようになったのはそのためです。

ところで、皆さんからみて17の目標はどのように感じますか?「開発途上国の話?」と思われる人もいないのでしょうか。全世界での取り組みだし、私たちは関係ないと思われる方もいるでしょう。

ですが、実際、日本でも7人に1人は貧困だといわれていたり、性別の違いでの格差があるなど目標を達成しているとは言えません。SDGsを自分事として考えてみるのが、取り組みにつながる第一歩だと感じています。

(次ページに続く)



SDGs17のアイコン

〇市民活動にできることは

これらの目標を市民活動の目線で考えてみましょう。実は、多くの目標は市民活動団体の目的の中で挙げられています。例えば、貧困に関して、こども食堂を運営したり、気候変動に関して、温室効果ガスの排出を減らす取り組みを進めたり、です。そういう意味では、市民活動はSDGsの取り組みの先駆者であるといえます。より良い社会の実現に向けて、世界と共に目標の達成に向かっていくことが大事なのではないでしょうか。

今年はSDGsが採択されて8年目となります。折り返しも見えてきたなか、SDGsの取り組みもだいぶ浸透していると感じています。約束の2030年に向けて、少しでも多くの目標を達成し、誰もが幸せに生きられる世界となることを祈ってやみません。

※2001年に策定され、8つの目標を掲げ、より良い世界を築くため国際社会が一体となって目指す共通の目標として実行され、2015年に達成期限を迎えた。  
参考:外務省「JAPAN SDGs Action Platform」, (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>) 閲覧日:2022年3月8日)

センターより

コラボレもおかWEBサイトリニューアル

真岡市を中心とした市民活動の情報をより分かりやすく受け取れるように当センターのWEBサイトをリニューアルしました。

見た目のデザインを大きく変え、各種SNSとの連携などさまざまな方に利用しやすいコンテンツをめざしました。

より便利に、使いやすくなったWEBサイトをこの機会にぜひご利用ください。

URL : <http://collabo-moka.net/>

右記QRコードを読み込んでアクセスできます。



新規団体紹介 (3月現在)

団体名	主な活動内容
歴友会	歴史の研究・調査を行い、報告や発表を行う
子ども達のための楽しい学びと遊びのオンラインの場 ハロハロラボ	子ども達の為にオンラインで学習支援やイベントの実施
せせらぎ会	男女共同参画を推進する活動を行う

第81回こらぼ茶話「ラジオ体操を学ぼう！」

12/11 土



コロナ禍が続き、なかなか外出しづらい日常が続くなかで運動不足解消とコミュニケーションの場をもうけようと、第81回こらぼ茶話「ラジオ体操を学ぼう！」を開催しました。

地域や企業等でラジオ体操の普及活動を行っている公認1級ラジオ体操指導士の田邊恭子さんを講師に、7名の参加者と共に体を動かしました。

3密にならないように気をつけながら、ラジオ体操の正しい動きと効果的な体操の仕方を学びました。

ラジオ体操第一と第二、さらに椅子に座ってできるラジオ体操で体を動かしました。

コロナ禍の中で、活動の機会は減ってしまいましたが、ラジオ体操を通じて健康づくりや仲間づくりのきっかけになればと思います。(参加者7名)

スキルアップ講座「パワーポイントで出来る!チラシ作り講座」

1/19 水



このスキルアップ講座では、プレゼンの資料作成などでお馴染みの「パワーポイント」を利用してチラシを作成するコツについて、コラボレもおかスタッフからお伝えしました。

講座がはじまると、メモをとったり、積極的に質問するなど皆さん真剣に受講していました。

ワークの時間ではそれぞれに頭を悩ませながらも、学んだコツを試しつつ、レイアウトを組み立てていきました。

今回、はじめてパワーポイントを使ったチラシづくり講座をおこないました。アンケートでは勉強になったという声もあり、皆さんのスキルアップにつながったと感じられました。今後も皆さんのニーズに合わせたスキルアップ講座を開催していきたいと思えます。(参加者8名)

スキルアップ講座「知っておきたい広報のコンプライアンス講座」

2/5 土



今回のスキルアップ講座は、さくら市市民活動支援センタースタッフの濱口浩志さんを講師に迎え、時代とともに見直されていくコンプライアンス [社会的規範の遵守] について、特に著作権などの広報時に気をつけるべき権利をわかりやすく解説してもらいました。

コロナウイルスが再流行し、急遽ハイブリット形式の開催となりましたが、近年よく耳にするコンプライアンスを知る機会ということもあり、6名の参加がありました。

曖昧な知識のままだと危険な、権利の取り扱いや安心できる広報の行い方まで、法令や判例をもとにした丁寧な解説を、参加者の皆さんは真剣に聞き入っていました。

中には「なんとなく」や「誰かもやっていた」という理由で著作権などを侵害してしまい、多額の賠償金を請求されるケースもあるそうです。

そうなる前に、ぜひ一度コンプライアンスを見直してみたいかがでしょうか？(参加者6名)

第82回こらぼ茶話「トンコリ演奏とアイヌのおはなし」

2/9 水



今回のこらぼ茶話は北海道出身でアイヌの工芸品なども手掛けている帯刀喜美雄さんにトンコリ演奏や、アイヌについてのお話を聞きました。

トンコリは北海道の先住民族のアイヌ民族に伝わる伝統的な楽器で、5本の弦を指で押さえずに、「開放弦」で弾く弦楽器です。

演奏される曲は、キツネやツルの動きなどを表現したものや、男性が女性を誘うものなど、アイヌの文化が感じられます。

北海道では明治頃までに、トンコリの演奏や付随する文化がほぼ失われたとのことですが、90年代頃から徐々に学習者が増え、今回のような演奏を聴くことができるようになったそうです

トンコリの他にも様々なアイヌの伝統楽器を紹介してもらいました。

講座終了後には「また聴きたい」という声もあり、皆さんのアイヌ文化への関心を知ることができました。

演奏や歌とともに、大自然に生きるアイヌの文化にふれる良い機会となりました。(参加者12名)